



## 第 1405 回例会報告

平成27年3月19日(木)雨

### 会長挨拶

会長 吉澤邦雄

### 識字率向上月間によせて

先週の臨時総会においてご承認いただきました諏訪湖浄化基金の取り崩しによる計測器寄贈に関連して、県の関係部署の方々とお会いしてまいりました。今後、貧酸素水塊の動態調査の始まる6月迄には「酸素濃度計測器」を寄贈したい旨を伝えたところ、大変恐縮され同席された皆様から感謝の言葉をいただきました。

また当方からは、総会の際に提案された幾つかの要望事項、懸案事項等を伝え、今後、当クラブの要望にも沿った形で進めて頂けそうな良い感触を得てまいりました。良い形で諏訪湖再生に向け前進するよう大いに期待したいと思います。

さて、今月は識字率向上月間です。識字(読み書き)とは日常生活の様々な場面で基本的に必要になる能力のことで、識字率は基礎教育の浸透状況を測る指針として使われているそうです。また、識字率を計算する場合は、初等教育を終えた年齢(一般には15歳以上)の人口に対して定義され、母語(母国語)における日常生活の読み書きができることを識字の定義とするそうです。現在、世界の平均識字率は約75%、特に低い国はニジェール(17%)、アフガニスタン(36.3%)、パキスタン(41.5%)等、アフリカ、中東諸国に偏っており、いずれも女性は男性の半分以下の識字率にとどま

っています。因みに日本は99.8%(男性 99.9%、女性 99.7%)だそうです。

今月号の「ロータリーの友」には各地で行われている識字率向上に係るプロジェクトが幾つも載っておりますが、過去には当クラブでも奇特定の協力の協力もあって、周年記念事業の一環としてタイの片田舎へ“小学校を寄贈”という事例もあります。最近では長期に亘り取り組んでいるフィリピンのゼブ島支援事業があり、ご存知のように教育的支援に重点が置かれつつあります。また、2600地区において当クラブより出向の渡邊国際奉仕委員長が推し進めようとしている“ミンダナオの子供図書館”支援事業は、人道的支援はもとより教育的支援にも重きをおき大きな貢献をしていくであろうというプロジェクトです。

今、世界各地で発生している悲惨な紛争は、宗教がらみのことが多いのですが、そのほとんどが貧しさに起因することは確かですし、識字率の低さ、教育環境の劣悪な地域、国々において起こっているのが現状です。読み書きができ幅広い知識を得ることは、世の中を理解し、お互いを尊重し合うために大変重要なことであり、世界平和にもつながる大切な要素だと思います。皆さんも是非“世界の識字率向上”のために何ができるか考えてみて下さい。

日は職業奉仕委員会主管による恒例の健康診断でしたが、皆さんいかがでしたか。後ほど平がる大きな可能性を秘めた大プロジェクトと言っても良いと思います。

#### ■出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	29名
出席率	78.4%
前回修正	86.5%

#### ■ニコニコBOX

4名	6,000円
累計	383,000円
目標額	60万円
達成率	63.2%

#### ■今週のことば

先週は結婚祝いありがとうございました。また3月は孫のため2回も初節句ができるうれしい月です。

萩田均

山崎館長本日はよろしくお願ひ致します

吉澤邦雄



◇幹事報告◇

【受領文書】

諏訪 RC、大津中央 RC よりウィークリーが届いています

1405 回例会

外部講師卓話「片倉家の人々」

講師 片倉館館長 山崎茂氏

社会奉仕委員会

今日は片倉館館長の山崎茂様をお迎えし、先人に学ぶ社会奉仕、シリーズのさいごを飾る講演をお願いしました。2代目片倉兼太郎に変装して会場をわかった館長の卓話は大変興味深く、当時の諏訪の起業家は、利益を社会貢献に、人の役に立ってこそ、の企業でありました。私たちも一企業人として先人に倣い本来の社会奉仕のあり方を考える機会としたと思います。



蚕の作った繭から人の暮らしに役立つ生糸を取る。製糸業は、明治時代初期からの日本を近代国家に育てた産業の中心です。中でも信州は、蚕糸王国を誇り機関車役を果たしました。

蚕の食べる桑の改良から生糸の生産まで、優れたリーダーによって発展しその代表が岡谷市に生まれた、農家の長男、片倉兼太郎です。

明治6年弟と製糸業を始めます。人力で小型器具を動かす方法から西欧に倣って動力による器械製糸へ移り変わる時期でした。兼太郎も5年

後には、天竜川近くで水力活用の器械製糸工場「垣外製糸場」を創業します。明治28年片倉組を組織して社長になりました。大正6年には、全国各地に24工場を数え、日本一に躍り出ます。

片倉館は、二代兼太郎が大正末期欧米視察旅行の際、ドイツのカルルスバットの施設に感銘し、帰国後当時著名な森山松之助氏に設計を依頼、昭和3年に竣工しました。現在のクワハウスの草分けであり、その目的が、女工のみならず地元住民の憩いの場所として現在に至ります。

2代目兼太郎のモットーは、従業員を大事にすること、利益は社会に還元することなのです。片倉所有だった富岡製糸場、共々国重要文化財の指定を受け他片倉館へ是非お出かけください。

大津中央ロータリークラブ 創立30周年記念式典

大津中央ロータリークラブの30周年記念式典にロータリー会員、同伴者合計20名で訪問して来ました。

大変な歓迎を受け式典と懇親会2次会で大いに懇親を深めました

翌日の比叡山延暦寺参拝は、中座さんと呼ばれる事務方の幹部の方が終始案内してくださり、根本中堂前では広報担当副座主(ふくざす)の方のご挨拶を受けました。

丁重な大津中央ロータリークラブの応対に感謝した2日でした。

